

神奈川総合高校
普通科・専門学科併置校
（舞台芸術科）
設置計画

令和2年3月

神奈川県教育委員会

神奈川総合高等学校の学科改編により、単位制による全日制普通科（個性化コース・国際文化コース）に加え、新たに舞台芸術科を設置する。これまでの普通科の取組を踏まえつつ、舞台芸術科併置校としての学校づくりを行う。

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 神奈川総合高等学校
- (2) 位置 神奈川総合高等学校敷地（横浜市神奈川区平川町 19-2）
- (3) 実施年度 令和3年度

2 設置の目的

- これまで単位制普通科として取り組んできた教育活動を継承・発展させるとともに、新たに舞台芸術科を併置し、生徒の個性を伸ばす教育をめざす。
- 「舞台芸術を幅広く学ぶ」学科として、演劇を中心に音楽や美術、情報や映像などの学びを通じて文化芸術に関する感性を高めるとともに、他者認識や自己認識の能力の向上などをめざし、豊かなコミュニケーション能力や表現力を育成する。
- 単位制のシステムをいかし、生徒自らが時間割を組み立て、主体的に学ぶことをとおし、新しい時代に必要な教養を身に付けさせ、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を育成する。
- 国際的な視野を持ち、多様な価値観を受け入れることのできる力の育成を図る中で、演劇を中心とした舞台芸術の学習に取り組むことで、グローバル社会における文化芸術の発展を担う、創造性豊かな人材を育成する。
- 普通科と舞台芸術科の併置により、多様な個性を持つ生徒が集まる特色をいかし、互いを認め合い、共に生き、共に育つ、協働的な学びのフィールドを形成する。

3 基本的コンセプト

- 単位制による全日制普通科と専門学科とを併置する県立高校として教育を展開する。
- 協働的な学びのフィールドをいかした人間関係形成能力の育成
単位制のシステム、及び普通科の個性化コース、国際文化コースと舞台芸術科との併置の特色をいかし、教科横断的な教育を展開しながら、多様な価値観や個性を持つ生徒との協働的な学びのフィールドを形成し、他者を受容し開かれた自己を確立した、人間関係形成能力に富む人材を育成する。

- 舞台芸術に関する教育内容の充実
舞台芸術科の教育課程を編成するにあたり、
 - I 演劇の理論や歴史に関する科目
 - II 演じるための基礎に関する科目
 - III 公演の脚本、演出、企画・制作、舞台技術等に関する科目
 - IV 実際に演じることにに関する科目
 の四つの科目のまとまり（科目群）を設けた上で幅広い学びの選択肢を提供する。

- 開かれた教育活動による多角的な視野の育成
劇場等の外部の施設、大学等の教育機関や地域と積極的に連携した教育活動を実施することで、多様な価値観や見識に触れる機会を設け、多角的な視野を持ち、グローバルに活躍する人材を育成する。

- 文化的・芸術的な視点からこれからの社会に寄与する人材の育成
演劇を中心とした舞台芸術の学習をとおして身に付けた表現力などの力をいかし、芸術の視点から活力に満ちた社会を形成することができる心豊かな人材を育成する。

- 多種多様な発表と交流の場の創出
多目的ホール、演劇スタジオをはじめ、校内の様々な施設を活用し、他者と協働した多種多様な発表活動、表現活動による、生徒の豊かな創造性を育む学びの場を創出する。

- 多様な進路選択
俳優・演出・企画・舞台スタッフといった舞台芸術に関わる進路だけでなく、身に付けた人間関係形成能力、問題解決能力等をいかして、国際、教育、福祉など様々な進路に対応するなど、既成の概念や進路イメージにとらわれない多様な進路選択を可能にする。

4 設置形態

- (1) 課程 単位制による全日制の課程
- (2) 学科 舞台芸術科（その他専門教育を施す学科）
（普通科個性化コース・国際文化コースについては継続）
- (3) 学校規模 全日制の課程

舞台芸術科	90名	（各年次	30名	1学級規模程度）
（普通科については次のとおり				
普通科	720名	（各年次	240名	6学級規模程度）

※学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定
- (4) 修業年限 3年
- (5) 学期 2学期制
- (6) 履修形態 必修科目及び選択必修科目並びに自由選択科目による科目履修

- (7) 授業展開 90分4限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定
 <日課表> (予定)

	(月) ~ (金)
打 合 せ	8 : 3 0 ~
1 校 時	9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0
移動・休憩	1 0 : 3 0 ~ 1 0 : 4 5
2 校 時	1 0 : 4 5 ~ 1 2 : 1 5
昼 休 み	1 2 : 1 5 ~ 1 3 : 0 5
3 校 時	1 3 : 0 5 ~ 1 4 : 3 5
移動・休憩	1 4 : 3 5 ~ 1 4 : 5 0
4 校 時	1 4 : 5 0 ~ 1 6 : 2 0

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集 (中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者)
 (2) 選抜の区分 共通選抜
 (3) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

- (1) 基本的方針
- 在籍3年以上で、高等学校学習指導要領に基づき、必修科目を履修し、学校において定めた卒業単位数を修得することで卒業とする。
 - 各自の進路希望や学習ニーズなどに応じて必要な科目を選択できるよう、多様な選択科目を設置する。
 - 専門教育に関する教科・科目の履修については、25単位を下らないこととする。
- (2) 教育展開の方針
- 学校全体として、単位制普通科と単位制専門学科の併置の特色をいかし、普通科と舞台芸術科が相互の科目を履修できる教育課程を展開することで、グローバル社会において、互いの個性を尊重し、協力し合いながら様々な課題に対処できる能力を育成する。
 - 地域や関係機関との連携を深め、神奈川県立青少年センター、神奈川県立芸術劇場などの外部資源をいかした教育を展開する。
 - 県立高校生学習活動コンソーシアムなど、地域の資源を活用した教育を展開する。

(3) 編成の方針

- 単位制の専門学科として、生徒一人ひとりが、自らの個性に応じて主体的に学び、問題解決に取り組む姿勢を身に付けるとともに、多様な進路への接続や生涯にわたって学習する基盤となるよう、感性を高め、豊かな情操を養うことや、技術・技能の向上につながる演劇、音楽や美術、情報や映像などの多様な選択科目を設置し、柔軟な教育課程を編成する。
- 舞台芸術の専門学科として、学科の設置趣旨や目標に基づき、生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばすとともに、身に付けた表現力などの力をいかし、芸術の視点から活力に満ちた社会を形成することができる心豊かな人材の育成に対応した教育課程を編成する。

(4) 科目構成と教育課程（予定）

- 想定される生徒の進路等を踏まえ、高校卒業に必要な普通科・舞台芸術科共通の必修科目・選択必修科目のほか、普通科・舞台芸術科共通の自由選択科目や、舞台芸術科における専門科目（必修科目・自由選択科目）の中から生徒が選択できるような科目を配置する。

◇ 必修科目・選択必修科目（普通科・舞台芸術科共通）

※ ○ 囲いの数字は単位数

国語総合④ 世界史A② 世界史B④ 日本史A② 日本史B④ 地理A② 地理B④ 現代社会② 倫理② 政治・経済② 数学I④ 科学と人間生活② 物理基礎② 化学基礎② 生物基礎② 地学基礎② 体育⑦ 保健② 音楽I② 美術I② 工芸I② 書道I② コミュニケーション英語I④ 家庭基礎② 家庭総合④ 生活デザイン④ 社会と情報② 情報の科学② 総合的な探究の時間③
--

※ 「総合的な探究の時間」については、各年次1単位ずつ履修することとし、校内の呼称は、テーマ学習、テーマ研究Ⅰ、テーマ研究Ⅱとする。

◇ 自由選択科目（普通科・舞台芸術科共通）

国語表現② 現代文A② 現代文B④ 古典A② 古典B④ 数学Ⅱ④ 数学Ⅲ⑥ 数学A② 数学B② 数学活用② 物理④ 化学④ 生物④ 地学④ 音楽Ⅱ② 音楽Ⅲ② 美術Ⅱ② 美術Ⅲ② 工芸Ⅱ② 工芸Ⅲ② 書道Ⅱ② 書道Ⅲ② コミュニケーション英語Ⅱ④ コミュニケーション英語Ⅲ④ 英語表現Ⅰ② 英語表現Ⅱ④ 英語会話② 情報デザイン② 表現メディアの編集と表現② 古典研究② 世界史研究A② 世界史研究B① 日本史研究A② 日本史研究B① グローバル学習② ラピッドリーディング② 校外講座④ 技能審査⑧ ボランティア活動② スポーツ・文化活動②

※ 下線は学校外の学修

◇ 舞台芸術科 専門科目

舞台芸術科必履修科目	
1年次	総合音楽② 演劇概論②* 基礎演技②* 基礎舞踊②* 基礎舞台技術①*
2年次	戯曲研究α①* 応用演技① 応用舞踊② 伝統芸能② 応用舞台技術① 舞台表現演習②
3年次	舞台表現演習②

※ 総合音楽は音楽Ⅰの履修に替える

舞台芸術科自由選択科目	
2・3年次	ファッション造形基礎②* 服飾手芸②* 音楽理論②* 演奏研究②* ソルフェージュ②* 声乐(技術)②* 声乐(表現)②* 器楽(技術)②* 器楽(表現)②* 鑑賞研究②* 美術史②* 素描②* 絵画②* 版画②* 彫刻②* クラフトデザイン②* 映像の制作と発信②* 音響実習②* 基礎デザイン②* 戯曲研究β①* 身体表現②* スタッフ実習①*
3年次	ビジュアルデザイン②* 実践演技①

*…普通科との共通履修科目

- 上記専門科目のうち、基本的コンセプトで示した舞台芸術に関する教育内容の充実の「四つの科目のまとめり（Ⅰ～Ⅳの科目群）」に位置付けられる主な舞台芸術科専門科目の学習内容は次のとおり。

< Ⅰ 演劇の理論や歴史に関する科目 >

演劇概論

戯曲研究α・戯曲研究

β

… 演劇に関する理論と歴史等の基礎的な知識を学ぶ科目
 (演劇概論) 演劇を学ぶ基礎として、演劇理論や演劇史の概要を学び、演劇に関する基礎的な知識・技能を育成する。
 (戯曲研究α・戯曲研究β) 様々な国や時代の戯曲を用いて、プロット分析や、せりふやト書きの役割、葛藤、クライマックスなどの戯曲の構成や特色を学ぶとともに、それをいかしながら短編戯曲作成に取り組み、表現力を育成する。

<Ⅱ 演じるための基礎に関する科目>

基礎演技・応用演技・
実践演技
基礎舞踊・応用舞踊
伝統芸能
身体表現

- … 演技に必要な技能、身体表現の能力等を育成する科目
(基礎演技・応用演技・実践演技) 発声等の演技の基礎を学ぶとともに、協働してさまざまなアクティビティを行うことをとおして、他者との関わりの中で自己理解・他者理解を深め自分を表現する能力を育成する。
(基礎舞踊・応用舞踊) 自分の意識と身体の関係、身体の個性や特徴などを理解し、ダンスの種類、国や地域による舞踊文化の違いなどを学びながら、踊る身体づくりをめざし、豊かな表現力を身に付ける。
(伝統芸能) 日本舞踊や狂言等、伝統芸能における姿勢、所作などの身体の使い方及び発声法などを学び、演技や表現の幅を広げる。
(身体表現) 身体を媒体とした多様なジャンルの表現方法を学び、音楽やリズムなどを手掛かりとして個性的な動きを創出し、自己表現のひろがりを楽しみながら作品づくりを行う。

<Ⅲ 公演の脚本、演出、企画・制作、舞台技術等に関する科目>

基礎舞台技術・応用舞
台技術
スタッフ実習
映像の制作と発信

- … 公演に必要な実践的な知識・技能等を育成する科目
(基礎舞台技術・応用舞台技術) 舞台づくりに必要な照明・音響、舞台美術に関する知識・技術や安全についての心構えを学び、特定の戯曲を題材に照明・音響、舞台美術のデザインやプランニングを行い、舞台発表に必要な能力を高める。
(スタッフ実習) 基礎演技や応用舞踊などの授業発表のスタッフを担当することで企画・制作、照明・音響、舞台美術などのスタッフ業務の実践的活動を行う。
(映像の制作と発信) 映像表現の特性を理解し、関連する技術を身に付けた上で表現の可能性を追求し、映像の制作と発信に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

<Ⅳ 実際に演じることにに関する科目>

舞台表現演習

- … 学科の学びの中心として、ⅠⅡⅢの科目で学んだことを総合的に演習することをとおして、一つの舞台芸術を創りあげることのできる能力を育成する科目
(舞台表現演習) ⅠⅡⅢの科目で学んだ演出、企画・制作、舞台技術等の知識・技術をいかし、戯曲の内容を理解し、出演者とスタッフが協働して一つの舞台を創りあげること、人間関係能力や問題解決能力を育成する。

- 上記の科目を選択する際のモデルとして、進路別に以下の五つの科目選択例を示す。
これらを参考に、生徒は、自分の進路やニーズに応じた科目を選択する。

◇ 科目選択例（令和3年度入学生の場合）

(例1) 基本科目選択例

※網掛けは舞台芸術科必履修科目・自由選択科目

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36		
1年次	国語総合④				数学Ⅰ④				数学A②		物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎②		体育②		保健①		コミュニケーション英語Ⅰ④		英語表現Ⅰ②		家庭基礎②		社会と情報②		テーマ学習①		総合音楽②		演劇概論②*		基礎演技②*		基礎舞踊②*		基礎舞台技術①*		LHR	
2年次	現代文B②		古典B④			日本史B/ 世界史B④				現代社会②		体育②		保健①		コミュニケーション英語Ⅱ④		英語表現Ⅱ②		テーマ研究Ⅰ①		戯曲研究α①*		応用演技①		応用舞踊②		伝統芸能②		応用舞台技術①		舞台表現演習②		自由選択①~④				LHR
3年次	現代文B②		古典A②		世界史A/ 日本史A②		日本史研究A/ 世界史研究A②		科学と人間生活②		体育③		コミュニケーション英語Ⅲ④		英語表現Ⅱ②		テーマ研究Ⅱ①		舞台表現演習②		自由選択①~⑧								LHR									

(例2) 舞台芸術の表現者をめざす科目選択例

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34			
1年次	国語総合④				数学Ⅰ④				数学A②		体育②		保健①		コミュニケーション英語Ⅰ④		英語表現Ⅰ②		家庭基礎②		社会と情報②		テーマ学習①		総合音楽②		演劇概論②*		基礎演技②*		基礎舞踊②*		基礎舞台技術①*		LHR		
2年次	現代文B②		古典A②		現代社会②		科学と人間生活②		物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎②		体育②		保健①		美術Ⅰ②		コミュニケーション英語Ⅱ④		テーマ研究Ⅰ①		戯曲研究α①*		応用演技①		応用舞踊②		伝統芸能②		応用舞台技術①		舞台表現演習②		音楽(技術)②*		映像の制作と発信②*		LHR
3年次	現代文B②		世界史A/ 日本史A②		日本史A/ 世界史A②		体育③		コミュニケーション英語Ⅲ④		テーマ研究Ⅱ①		舞台表現演習②		演奏研究②*		音楽(表現)②*		鑑賞研究②*		音響研究②*		音響実習②*		戯曲研究β①*		身体表現②*		スタッフ実習①*		実践演技①		LHR				

(例3) 舞台技術のスタッフをめざす科目選択例

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34			
1年次	国語総合④				数学Ⅰ④				数学A②		体育②		保健①		美術Ⅰ②		コミュニケーション英語Ⅰ④		家庭基礎②		社会と情報②		テーマ学習①		総合音楽②		演劇概論②*		基礎演技②*		基礎舞踊②*		基礎舞台技術①*		LHR		
2年次	現代文B②		現代社会②		数学Ⅱ④				数学B②		物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎②		化学基礎 生物基礎 地学基礎 物理基礎②		体育②		保健①		コミュニケーション英語Ⅱ④		テーマ研究Ⅰ①		戯曲研究α①*		応用演技①		応用舞踊②		伝統芸能②		応用舞台技術①		舞台表現演習②		基礎デザイン②*		LHR
3年次	現代文B②		世界史A/ 日本史A②		日本史A/ 世界史A②		科学と人間生活②		体育③		コミュニケーション英語Ⅲ④		テーマ研究Ⅱ①		舞台表現演習②		鑑賞研究②*		美術史②*		音響研究②*		音響実習②*		戯曲研究β①*		スタッフ実習①*		映像の制作と発信②*		ビジュアルデザイン②*		実践演技①*		LHR		

(例4) 大学進学を意識した科目選択例 (私立大学文系希望の場合)

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1 年次	国語総合 ④			数学Ⅰ ④			数学 A ②		物理基礎 ／化学基礎 ／生物基礎 ／地学基礎 ②		体育 ②		保健 ①		コミュニケー ション 英語Ⅰ ④		英語 表現Ⅰ ②		家庭 基礎 ②		社会 と 情報 ②		テーマ学 習①		総合 音楽 ②		演劇 概論 ②*		基礎 演技 ②*		基礎 舞踊 ②*		基礎 舞台技術 ①*		L H R	
2 年次	現代 文B ②		古典B ④			世界史B/ 日本史B ④			現代 社会 ②		科学と 人間 生活 ②		体育 ②		保健 ①		コミュニケー ション 英語Ⅱ ④		英語 表現Ⅱ ②		テーマ研 究Ⅰ①		演劇研 究α①*		応用 演技 ①		応用 舞踊 ②		伝統 芸能 ②		応用 舞台技 術①		舞 台 表 現 演 習 ②		L H R	
3 年次	現代 文B ②		古典 A ②		世界史A ／ 日本史A ②		世界史 研究A ／ 日本史 研究A ②		世界史 研究B ／ 日本史 研究B ②		体育 ③		コミュニケー ション 英語Ⅲ ④		英語 表現Ⅱ ②		グロー バル 学習 ②		テーマ研 究Ⅱ①		舞 台 表 現 演 習 ②		演劇研 究β①*		身 体 表 現 ②*		スタ ッフ 実 習 ①*		実 践 演 技 ①*		L H R					

(例5) 大学進学を意識した科目選択例 (国公立大学希望の場合)

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1 年次	国語総合 ④			数学Ⅰ ④			数学 A ②		物理基礎 ／化学基礎 ／生物基礎 ／地学基礎 ②		体育 ②		保健 ①		コミュニケー ション 英語Ⅰ ④		英語 表現Ⅰ ②		家庭 基礎 ②		社会 と 情報 ②		テーマ学 習①		総合 音楽 ②		演劇 概論 ②*		基礎 演技 ②*		基礎 舞踊 ②*		基礎 舞台技術 ①*		L H R	
2 年次	現代 文B ②		古典B ④			世界史B/ 日本史B ④			現代 社会 ②		数学Ⅱ ④		数学 B ②		体育 ②		保健 ①		コミュニケー ション 英語Ⅱ ④		テーマ研 究Ⅰ①		演劇研 究α①*		応用 演技 ①		応用 舞踊 ②		伝統 芸能 ②		応用 舞台技 術①		舞 台 表 現 演 習 ②		L H R	
3 年次	現代 文B ②		古典 A ②		世界史A ／ 日本史A ②		世界史 研究A ／ 日本史 研究A ②		世界史 研究B ／ 日本史 研究B ②		化学基礎 ／生物基礎 ／地学基礎 ②		生物基礎 ／地学基礎 ／物理基礎 ／化学基礎 ②		体育 ③		コミュニケー ション 英語Ⅲ ④		ラピッ ドリー デイン グ ②		テーマ研 究Ⅱ①		舞 台 表 現 演 習 ②		演劇研 究β①*		身 体 表 現 ②*		スタ ッフ 実 習 ①*		実 践 演 技 ①*		L H R			

※ 基礎舞台技術、応用舞台技術は集中講義の予定。

※ 自由選択は、2、3年次で3単位以上履修する。

(5) 学習指導の工夫

- 学びの質や深まりを重視し、課題の発見と解決に向け、生徒が主体的・協働的に学ぶ学習スタイルを徹底する。
- 自らの学習目的や進路希望に基づき、主体的に学習を進めることができるよう、また、生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図ることができるよう指導を行う。
- 専門科目の展開においては、実技などの学習をとおして、他者と協働して問題解決を図る能力を育成することをめざした指導を行うとともに、生徒各自のニーズに応じた、きめ細かい指導ができるよう配慮する。
- 舞台芸術を学ぶ中においては、表現と鑑賞の資質・能力を相互に関連させ、感性や想像力等を育み、幅広い教養や芸術的センスを身に付けられるよう指導を行う。
- 舞台芸術に係る外部機関との連携や外部人材の活用などによる専門的な学習機会を設け、実感を伴って芸術に対する理解を深める機会の充実を図る。

(6) 生徒指導等の工夫

- 特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部（同好会）活動等の集団活動により、さまざまな個性を相互に尊重し、互いを高め合う良好な人間関係の構築をめざす指導を行う。
- 生徒理解を深め、生徒の状況を的確に把握し、教師との信頼関係を基に一人ひとりに応じた適切な配慮や支援を行う体制を整える。
- 学科の特性をいかした学校行事、部（同好会）活動や、地域連携活動を活性化させ、学校全体としての特色ある学校づくりを推進する。

(7) 進路指導の工夫

- これまでの進路指導に加えて、舞台芸術科の特性を踏まえ、入学直後から専門家の舞台の見学など、体験的なキャリア教育を展開する。
- 舞台芸術の専門分野のみならず、生徒のめざす多様な進路の実現につなげるため、舞台芸術科の学習をとおして身に付ける資質・能力をいかせる進路についての情報収集に努める。
- グローバル社会を見据えながら、生徒が自己の在り方、生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じてキャリア教育を推進する。
- 単位制のシステムをいかした教育課程や学習指導を十分に活用し、生徒一人ひとりの進路目標を実現する組織的な支援体制を確立する。

(8) 学校経営

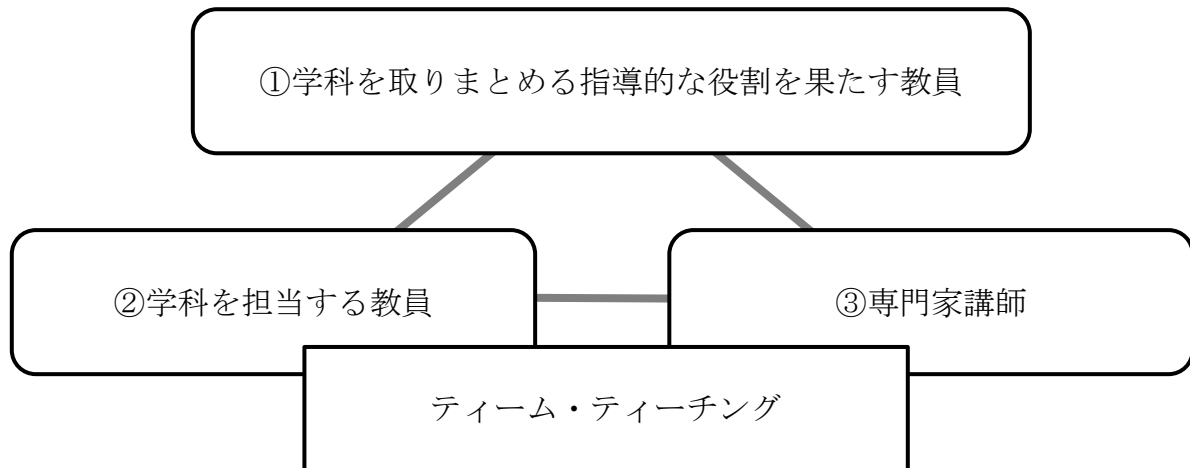
- 学校教育計画に基づき、コミュニティ・スクールのシステムをいかすなどして、一層充実した自律的・組織的な学校経営に取り組む。

7 施設・設備の整備

- 舞台芸術科の教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。
- 演技や舞踊の実習等に使用するため、既存の教室等を改修し、防音・防振のレッスン室や個別活動室の整備を行う。
- 授業発表や舞台技術の実習等に使用するため、多目的ホールの照明設備の整備を行う。

8 指導体制等について

- 舞台芸術科の教育の展開に必要な職員の配置を行う。
- 基本的コンセプトを踏まえ、舞台芸術科としての特色ある教育活動を展開できるよう、学科を取りまとめる指導的な役割を果たす教員を核に、専門的な知識を持つ外部講師と教員のチーム・ティーチングによる指導を実施する。



※ 「②学科を担当する教員」は、舞台芸術科の教科・科目等の授業を担当する教員で、教員免許状を有しない「③専門家講師」とともに舞台芸術に関する専門科目を担当し、チーム・ティーチングによる授業を実施。教員免許状を所有する教員としての視点から、生徒を指導・支援。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画室高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通 33 〒231-8509 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線 8255・8256